

令和7年3月市議会定例会報告

QUESTION① 羽島市において電子回覧板導入に関して現在の検討状況は？

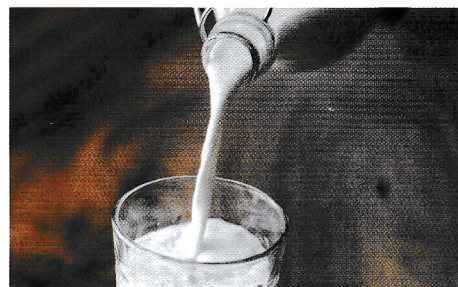


自治会活動のデジタル化実証事業に参加した自治体の検証では、書面の電子化やアプリ操作の学習、利用者への説明、さらにチャット機能を通じた問い合わせ対応など、新たな課題が明らかになりました。電子回覧板の利点を活かしつつ、紙の回覧板と併用する形での運用を目指し、引き続き調査・研究を進めていきます。

QUESTION② プラスチックごみ削減の観点から今後どのように取り組まれるのか？



学校では、家庭科や社会科、総合的な学習の時間を通じて、SDGsに関する学びの機会を設けています。また、児童会や生徒会の活動として、校内に資源回収BOXを設置しリサイクル活動を実施。さらに、CO2削減に向けて、牛乳パックやストローの見直しについて県の担当部局へ要望していきます。



議案質疑

「子どもだれでも通園制度」の受け入れは？



Q、羽島市では令和7年度試行期間として始められるそうですが、この園で何名受け入れ可能で利用料金はお幾らでしょうか？

A、各事業所と情報共有や協議を重ねて認可基準に沿った決定する予定です。また保護者が支払う料金は、1時間あたり300円を予定しております。

YOUR VOICE 皆さまの声を聞かせてください

LINEにて皆様のお声を聞かせていただきますので、友達登録をお願いします。
また、日々の活動報告も、Instagramにて随時更新しております。是非、ご覧ください。



子ども会・PTA等の **和菓子教室** も随時受付中！

令和6年12月市議会定例会報告

QUESTION①

岐阜県と連携した観光拠点整備についての考え方は？



リニア中央新幹線開通後、東海道新幹線岐阜羽島駅への停車本数の増加が見込まれることから岐阜県が誇る観光資源への誘客が期待されるので岐阜羽島駅の観光交流機能強化に向け岐阜県に働き掛けを行ってまいります。

QUESTION②

小1ギャップ解消に向けての羽島市の取り組みは？



令和5年1月より「羽島市幼保小連携推進協議会」を開催し各園から小学校へ不安や無理のない生活が送れるよう工夫・改善に取り組んでいます。6年度は、堀津小学校区をモデル校区指定し、その実践の成果等を市内の学校・園が、参考・活用しているところです。



QUESTION

火の見やぐらの安全対策について



令和5年9月定例会にて、市内に残る火の見やぐらの撤去について一般質問を行いました。

火の見やぐらは、かつて火災をいち早く発見するために活用されてきましたが、現在ではその役割を終え、使用されないまま老朽化が進み、むしろ危険な構造物となってしまっています。

こうした現状を受け、議会で取り上げたところ、令和7年度の予算において、撤去に向けた費用を確保していただけることとなりました。市内に14基ある火の見やぐらのうち、特に危険性が高いと判断されたものから順次、撤去が進められる予定です。

今後も、市民の皆さまの安心・安全な暮らしを守るため、現場の声に耳を傾け、着実に行動してまいります。



羽島市議会議員 安藤 誠

🌐 WEBサイト：<https://ando-makoto.com>

☎ 電話：090-1418-6561 FAX：058-391-6708

✉ メールアドレス：makotoando19671116@gmail.com

📍 〒501-6239 羽島市江吉良町江南1丁目18番地

✍ 編集・発行：安藤 誠

